

1. 看護学生のタッチケア(触れるケア)に関する研究

2. 看護学生の異文化感受性に関する研究

キーワード：1. 看護学生、タッチケア、看護教育
2. 看護学生、異文化感受性、国際交流

領域・氏名

[看護（老年看護学）助教 / \[丸山加菜\]\(#\)](#)

概要

1. 老年看護学領域では、認知症患者や脳血管疾患を持つ高齢者など非言語的なコミュニケーションや不安感・ストレスの軽減が必要となる対象へのケアとしてタッチケア（触れるケア）の技術演習を実施し、講義や実習での教育効果を研究しています。
2. 在留・訪日外国人の増加に伴い、文化・宗教など多様な背景をもつ対象をケアするために異文化感受性を高める必要があり、国際交流を通じた教育効果についての研究に取り組んでいます。

具体的な内容

1. 老年看護学領域の講義・演習のタッチケア（触れるケア）の体験により、どのような効果や学びがあったのか、また、その後の臨地実習において学習内容がどのように看護実践に活用されているのか、教育効果について研究に取り組んでいます。そして、より実践力を高めるための老年看護学教育における指導方法を検討しています。
2. オンライン国際交流や対面での交流による教育効果について研究に取り組んでいます。交流により、チャレンジ精神の出現や学習意欲の向上といったポジティブな心理的变化がみられています。異文化感受性が高まり看護観がより深まるよう、効果的な国際交流の在り方について検討していきたいと考えています。

information

今後は、高齢者施設におけるタッチケア（触れるケア）や外国人労働者に関する研究についても取り組んでいきたいと考えています。